



令和2年10月13日
 (公財)横浜市芸術文化振興財団
 横浜市文化観光局文化振興課

横浜の文化の灯をともし続けたい！ アーティストの思いを届ける映像配信の ポータルサイトを公開します。

横浜の文化芸術の基盤を支えてきた市内のプロのアーティストや文化芸術関係者たちが、コロナ禍の影響で活動の休止や縮小を余儀なくされています。横浜市は、アーティストたちが無観客公演などコロナ禍の中でも可能な活動を行って、その映像をウェブ配信する取組を支援しています(「横浜市映像配信支援プログラム」※)。

10月13日から、これらの映像を検索・閲覧できるポータルサイトを公開します。様々なコンテンツが順次追加される予定です。アーティストたちそれぞれの思いがこもった映像をご覧いただき、ひとりでも多くの市民の皆様に「ともに横浜の文化の灯をともし続けよう」という思いを共有していただきたいと思います。

※別紙をご参照ください。

1 名称・URL

名称：横浜市映像配信支援プログラム 検索サイト **YOKOHAMA SHOWCASE**

URL：https://www.showcase.yokohama/

2 公開期間

令和2年10月13日10時～令和3年3月31日

3 概要

映像を分野別に検索し、配信元にリンクできます。当初掲載予定は16本。

配信が終了した映像については、ダイジェスト版を掲載しています。

今後ライブ配信が予定されている映像については、配信情報を掲載します。

※一部のライブ配信等は有料のものがあります。

(コンテンツ例)

スキマのスキマ、ライブ配信



バンド「スキマのスキマ」メンバーがそれぞれのスタジオをオンラインでつないで、セッション。

みえないけどいる -touch the ghost skin...?-



触れあわないけれども、重なり合っているように見せる映像技術を活かした繊細で豊かなダンス作品。

くらしSS(ショートストーリー) 能「羽衣」



70分の能「羽衣」の魅力を18分にギュッとまとめたショートストーリー。分かりやすいテロップ付。

お問合せ先

[公開するポータルサイトの内容に関すること]

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

経営企画室室長 藤崎 信裕 Tel 045-221-0212

[横浜市映像配信支援プログラムの趣旨等に関すること]

横浜市文化観光局文化振興課長 野田 日文 Tel 045-671-3703

参考 コロナ禍に対する横浜市の文化芸術緊急支援事業について**1 横浜市映像配信支援プログラムについて**

横浜市内のライブハウス・ホール・劇場等の施設を使って、無観客公演など社会情勢に合った形で文化芸術企画を実施し、その映像をインターネット上で配信する取組に対して支援金を給付しました。

(1) 支援対象

文化芸術を生業とし、活動自粛・休業要請等により、横浜市内の文化施設での公演・展示等が延期又は中止となった横浜市内在住または市内に活動拠点を置く個人事業主又は法人

(2) 対象分野

- 音楽、演劇、映像・写真、舞踊、美術、伝統芸能、茶華書道
- ・上記分野の複合も対象。
- ・上記分野の芸術家だけでなく、公演・展示・上映等の企画・制作・運営に関わる事業者・施設運営者等も対象。

(3) 募集期間

令和2年6月15日から7月3日

(4) 給付金額

1件上限70万円

(5) 給付件数

209件

※352件の申請について、選考委員会で審査を行い209件を採択しました。

2 他の文化芸術緊急支援事業**(1) 横浜市文化芸術活動応援プログラム****ア 概要**

活動再開に向けた準備制作等の活動支援

イ 募集期間

令和2年5月28日から6月10日

ウ 給付金額

1事業者上限30万円

エ 給付件数

826件

(2) 文化芸術創造都市横浜・臨時相談センター“YES!”の開設**ア 概要**

文化芸術活動の担い手のためのオンライン特別相談窓口として「文化芸術創造都市横浜・臨時相談センター」を開設。

アーティストやクリエイターをはじめ、文化芸術に関わる個人・団体などを対象に、税理士や弁護士等の専門家が相談対応し、活動の継続と再開に向けた支援を実施。

イ 期間

令和2年5月20日～

(3) 横浜WEBステージ**ア 概要**

インターネットで気軽に参加できる芸術フェスティバルを開催。ドローンや小型広角カメラで撮影した、これまで見たことのないような映像を配信。

イ 期間

令和2年9月1日～令和3年2月27日